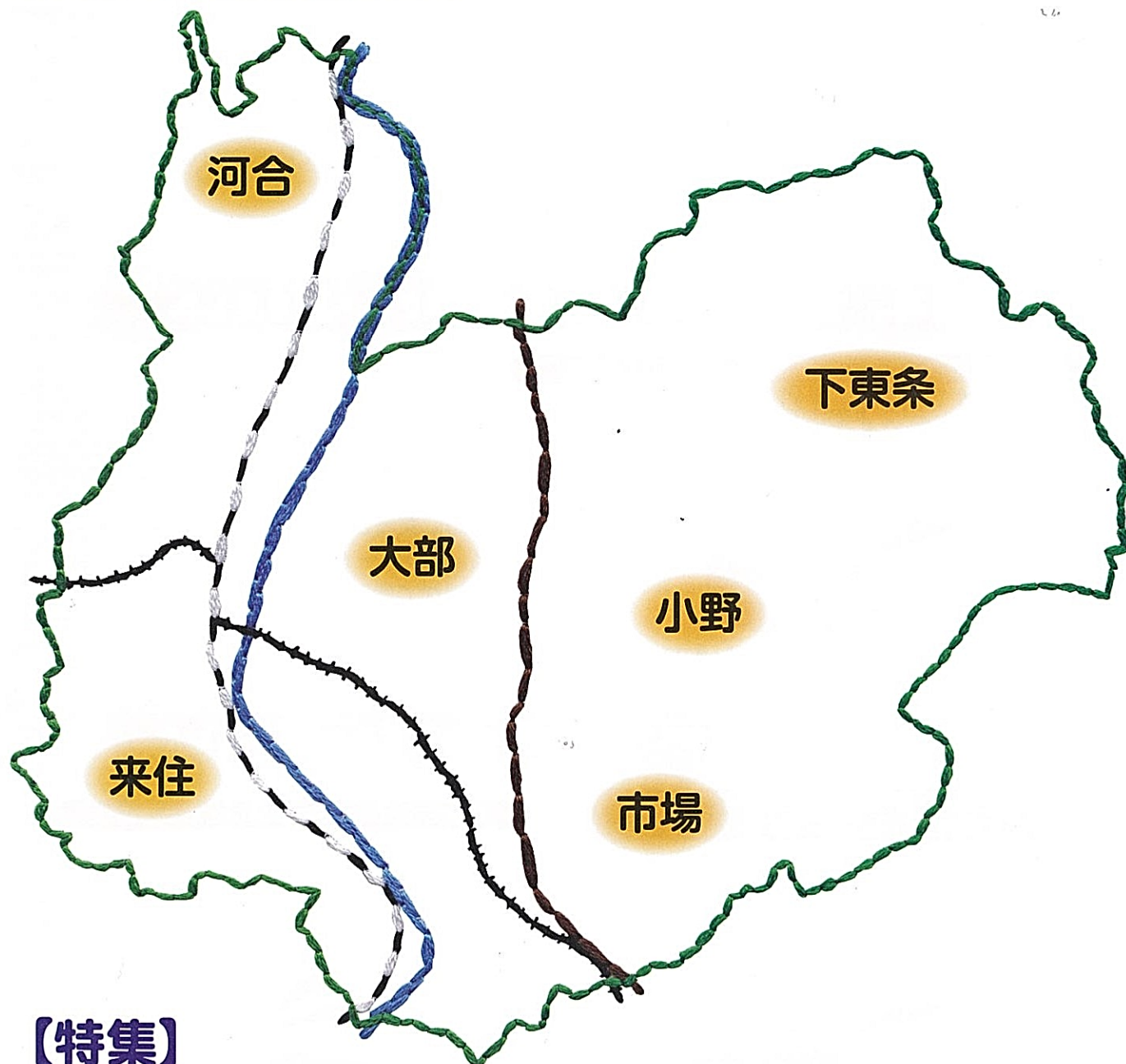


はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。



【特集】

「女性の視点が地域を変える」

女性の視点が地域を変える

今年度の男女共同参画センターのテーマ、『女性の活躍を推進する社会づくり～意思決定の場に女性の参画を』のもと、前号では市内の自治会長、小野市議会議員、前尼崎市長の3名の女性へのインタビューを特集しました。特に自治会長についての反響が大きかったようです。

小野市では、平成25年度の「自治会役員女性参画推進事業補助金」※1の創設により、女性役員を登用している自治会の割合は、53.3%（90町のうち48町）に達しました。（平成30年3月時点）

そこで今回は、自治会への女性の参画について考えてみました。

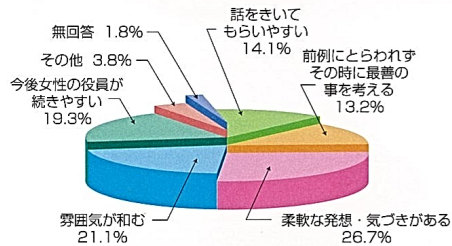
※1「自治会役員女性参画推進事業補助金」とは？・・・意識改革や、男女がともに自治会役員を担うことで、新しい視点での取り組みを生み出し、地域での活動をより活発にすることを目的に、女性の役員を継続登用される自治会への3年間限定の奨励補助金制度。

女性役員についてアンケートを実施しました

【回答者数】 計170名（男性98名 女性69名 無回答3名）
女性役員がいる地区150名 いない地区18名 無回答2名
【対象】 現在市内で自治会役員をしている30代～70代男女
【調査期間】 平成30年11月～12月

現在、女性役員がいる地区のみなさんへ聞きました

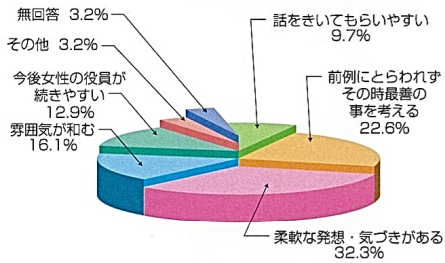
女性役員についてあてはまるものを選んでください



- ・初めはできないと言っている女性も、いざ役員になると一生懸命やる人が多い。（小野・40代・女性）
- ・町行事の時に女性役員がいると女性が参加しやすい。（小野・40代・女性）
- ・柔軟な発想ができる。（下東条・70代・男性）

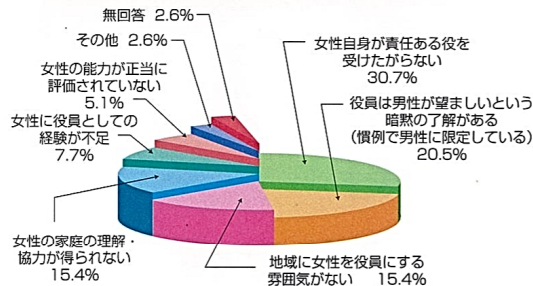
現在、女性役員がいない地区のみなさんへ聞きました

今後、女性役員が登用されるとどのようなことが期待されると思いますか？



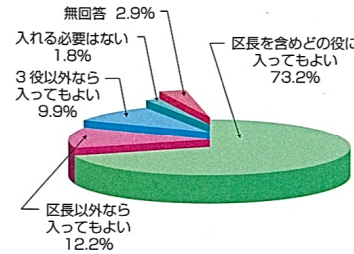
- ・家族の理解はあり、むしろ積極的に賛成されるが、家事は当然私がするものと全員思っている。（小野・60代・女性）
- ・役員としては男性の名前があがっているが、実際には妻がやっているので、女性にもできると思う。（来住・60代・女性）

自治会役員に女性が少ないと思う理由は？



市内各地域のみなさんに聞きました

自治会役員に女性が入ることについてどう思いますか？



- ・女性ではダメな理由が分からない。（小野・30代・男性）
- ・家庭があるので大変だと思う。（下東条・40代・女性）
- ・やる気があれば誰でも問題ないと思う。（河合・40代・男性）
- ・自治会の活性化が図られる。男女で分ける必要がない。（下東条・50代・男性）
- ・男性だけでは役員の確保ができない。（小野・50代・男性）
- ・女性区長には賛成だが、現実には力仕事もあり、それが困難と考えられる。（河合・60代・男性）

- ・女性がどんどんトップになることは、新しい発想力と事業力で、より暮らしやすくなると思う。（来住・60代・女性）
- ・女性から見ての町行政が聞ける、女性にも町の事を知ってもらいたい。（下東条・60代・男性）
- ・多様な意見が反映される。（大部・60代・女性）
- ・男女ではなく、適任者が参画すればよい。（下東条・60代・男性）
- ・女性・男性は関係ない。（市場・60代・男性）
- ・男女両方の目による行政。（小野・70代・男性）

アンケートの結果、女性役員がいない地区のみなさんが女性役員に期待されることと、女性役員がいる地区のみなさんが女性役員について思われる事に大きな違いはありません。むしろ今後女性役員が続きやすいことがより期待できる結果となっています。また、自治会役員に女性が入ることについて、性別や世代を問わずほとんどの方が賛成されている結果も出ています。あとは女性自身が参画に一步をふみだすことではないでしょうか。

【寄稿】 竹安栄子さん

京都女子大学特命副学長・地域社会学

自治会には、市民の生活にもっとも身近な課題を扱います。同時に行政（市）と市民を仲介する重要な単位でもあります。地域課題の解決の担い手である自治会の役員会に女性の意見を直接反映することは地域づくりにとって重要です。

調査結果をみると、小野市の市民の間には、自治会運営に女性が入る素地がほほ出て来ているといえます。「必要なら」との回答は3名18%。地区に女性役員がいる・いないに関わらず、女性役員の存在に期待を寄せています。「柔軟な発想」「前例にとられない」「など地域の活性化や、話をきいてもらいやすい」「雰囲気や和む」など地域間の関係の向上に女性役員が期待されています。にもかかわらず、小野市の半分近く（46%）の地区で女性役員が不在です。なぜなのでしょう。

回答者数が18名と少ないのですが、女性役員がいない地区の方に尋ねた「女性が少ないと思う理由」をみてみると、女性役員に対して地域が消極的との回答（慣例で男性に限定）20.5%、

「女性を役員にする雰囲気がない」15.4%、も約3分の1ありましたが、「女性自身が受けたいがらない」という回答が一番多くなっています（30%）。女性役員が少ない理由は、一つには地区の問題ですが、女性自身にも理由があるようです。「区長や支店などの役に女性が入ってもよい」と回答したのも、男性は86.7%でしたが、女性は63.8%でした。女性の方が重要な役割を引き受けることに消極的です。

自由回答欄に、女性が区長などの役員を務めるのは「家庭との両立が難しい」と記入した女性も何人もおられます。男性も女性も、自治会運営を女性も担うことが地区の活性化に資すると分かりながら、それが実現できない理由は「ここにあるようです。まず、家庭内の役割分担の在り方を見直すことが、地域活性化の鍵といえるのではないのでしょうか。役員会の開催時間を変えて、役員会の時が夫が家事・育児を引き受ける、などできることは色々あるのではないのでしょうか。」





どなたでも参加できますよ〜♪

はーと・シップ フェスタ vol.1

〇〇の目線を知る
〇〇の目線から学ぶ

販売、ワークショップ、ステージ発表、活動紹介など
楽しいブースが盛りだくさん！

男性も女性も 高齢者も若者も 障がいのある人もない人も
それぞれの立場や視点で、いろんな「目線」を発見してみませんか？

2019. 2.17 (日)

会場：小野市うるおい交流館エクラ 小野市中島町 72

10:00 ~ 15:00

主催：はーと・シップ フェスタ実行委員会

小野市・小野市男女共同参画センター・特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター

共催：小野市女性団体連絡協議会

協力：BIG WHY (おのウィメンズ・チャレンジ塾生)

出展ブース 10:00~14:00

ハートフルサロン・大会議室

ハンドメイド雑貨販売、フリマ、
ワークショップなど
楽しいモノ・コトが勢ぞろい！

ステージ① 11:00~12:00

ハートフルサロン

ダンス、寸劇、お琴、銭太鼓

ステージ② 14:00~15:00

ハートフルサロン

リレートーク
~〇〇の目線を知る 〇〇の目線から学ぶ~
ステキな時間が盛りだくさん！

飲食ブース 11:00~14:00

交流ホールホワイエ・ウッドデッキ

焼きそば、うどん、巻きずし、
釜めし、サンドイッチなど
おいしいものがいっぱい！

※交流ホールホワイエに
飲食スペースあります！

お茶席あります♪
10:00 ~

お一人250円/先着100名

無料相談窓口案内

○市外の相談窓口もご利用いただけます。

実施機関	種類	電話番号	実施日時	所在地
小野市男女共同参画推進グループ	女性のための相談	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30	小野市中島町72 小野市うるおい交流館エクラ内
		面接相談 (予約制)	木曜日 13:00~16:00	
		※託児ご希望の方は、ご相談ください。		
小野市ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONODまわりほっとライン)	電話・面接相談 (随時) 0794-62-4110	月~金曜日 9:00~17:00	小野市役所内
小野市DV相談室	DV相談	電話・面接相談 (随時) 0794-63-1116	月~金曜日 9:00~17:00	_____
北播磨総合医療センター	女性のための医療専門相談	面接相談 (予約制) 0794-88-8800	木曜日 13:30~16:00	小野市市場町926-250 北播磨総合医療センター内
兵庫県立男女共同参画センター	女性のためのなやみ相談	電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~12:00 13:00~16:30	神戸市中央区 東川崎町1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)
		面接相談 (予約制) 078-360-8554 (予約専用電話)	月~金曜日 11:00~18:40 土曜日 9:20~16:50	
	法律相談 (女性弁護士)	面接のみ なやみ相談 (面談)後に予約	毎月第2水曜日 (原則)	
兵庫県女性家庭センター「悩みのほっとライン」	DV相談と女性の悩み相談	電話相談 (随時) 078-732-7700	原則第1・3火曜日 17:00~19:00	_____
			毎日 9:00~21:00	
日本司法支援センター (法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	電話番号 0570-078374	平日9:00~21:00 土曜日9:00~17:00	_____

編集後記

私の家庭では、義母は夕飯を作ってくれますし、義父は子どもの送迎をしてくれます。夫も家事を積極的にしてくれています。そんな助けもあるので、地域や保護者としての役員を引き受けることもできます。「周りに恵まれているね」と人から言われることがありますが、私は一人ですべてのことをこなすのが無理だと思う時には、迷わず周りに頼ることにしています。ただ、現実には、夫に頼んだ家事で自分とやり方が違ったりしてジレンマを感じることもありますが、そこは指摘せず割り切って妥協することも大事だと考えています。

今号を発行するにあたり、アンケート結果などを読んでいくうちに、女性が家族の協力を得られない状況があると同時に、人に頼ることがうまくできない女性が多いことも感じました。そのことが、女性自身がふみだせない要因のひとつになっているのかもしれないと思いました。

本誌に対するみなさまの率直なご意見やご感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL: 0794-62-6765 FAX: 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail danjo@ksks-arche.jp